

平成27年度 第3回 エルシーブイ放送番組審議会 議事録

■開催日時 平成27年12月14日(月) 午後1時30分～午後3時00分

■場 所 エルシーブイ株式会社 ANNEX 1階会議室

■出席者 委員総数 5名

出席委員 (4名)

市川 純 章 委員

河西 滋 子 委員

井上 淳 哉 委員

小泉 光 世 委員

欠 席 菊池 大 介 委員

放送事業者側 (8名)

河 口 讓 代表取締役社長

吉 澤 君 弘 常務取締役

伊 藤 敏 昭 取締役

佐 久 章 展 放送制作部長

柳 原 正 放送制作部 編成運行課長

吉 田 和 晃 放送制作部 報道課長

早 出 伸 哉 放送制作部 報道課

原 田 久 美 子 事務局

■議 事

1. 審議事項

【審議番組】 「満州 富士見分村～戦後 70 年の証言～」

委員からの主な意見

＜評価意見＞

- ・大変素晴らしい作品だった。
- ・実体験による話なので重みがある。戦争の悲惨さが身に染みてわかった。
- ・生の人間の声があってよかった。
- ・インタビューに本音で語っており、心を開いて答えているのがわかった。
- ・インタビューをテーマごとに区切って入れていくので、飽きさせない。
- ・大きな流れの中で、個々の人間が判断力を持たず、気概だけで行動してしまっ、平和な時とは大きく変わってしまうのだとわかった。戦争という異常な状況の中での人間心理の怖さを感じた。
- ・群衆心理という点で、オウム真理教・赤軍派などの事件、いじめなどと共通点があったのではと思った。
- ・富士見から大勢の人が満州に開拓に行ったということを全く知らなかったので、番組を見てもっと詳しく知りたいと思った。
- ・身近にすごくいい素材があったとびっくりした。歴史的に知ってはいても、身近にこんなことがあったと勉強になり、発見があった。地元意識があればあるほど、説得力があった。
- ・題字はテーマに沿った字でとても良かった、二胡、ナレーションも良かった。
- ・地方のCATVが作ったとは思えないほどの作り、御柱を入れたのも良かった。
- ・すごい絵を選んだと思った。効果的だったと思う。

＜指摘・要望＞

- ・話の途中で場面が変わったりして気になった。
- ・日本全体の古い映像が入っていれば、歴史的なつながりがわかったと思う。
- ・人間の二面性については、普段どういう人がどう豹変したのか、雰囲気だけでなく、もう少し丁寧な説明があってもよかった。
- ・話をする人の当時の年齢を、わかるようにすべきだった。
- ・村長や議員が開拓団として行ってしまった後の富士見村がどうだったのか知りたかった。
- ・オープニングは良かった、もう2・3の見どころを出してもよかった。
- ・もし続編があるなら、戦争が怖いということだけでなく、どうすればそういう方向へ行かないのかということを解明しながら作ってほしいと思った。
- ・絵画が強烈で、言わんとすることと違うことを想像してしまう。絵画は事実以外の作者の思いが入ってしまうので、慎重な使い方を考えてほしい。
- ・絵画の説明がもう少しあってもよかった。
- ・教育的資料としては説明が不足ではと思った。少し勉強した人にはわかるかも知れないが、知らない人には解りづらいと思った。

- 絵画や音楽などで心理的にインパクトを与えているところもあるのに、言葉を濁して想像にまかせている点がある。資料とするなら事実は事実として淡々と伝えた方がいい。
- 全く体験のない子どもたちが見たときどういう感想を持つのか心配になった。知らせることは大事だが、それを間違えると逆効果になると思うので、子供向けにするなら考えた方がいい。
- 地元の資料として残すなら、もう少し手を加えた方がいい。